



忠臣蔵
 大坂の陣
 馬を
 返す

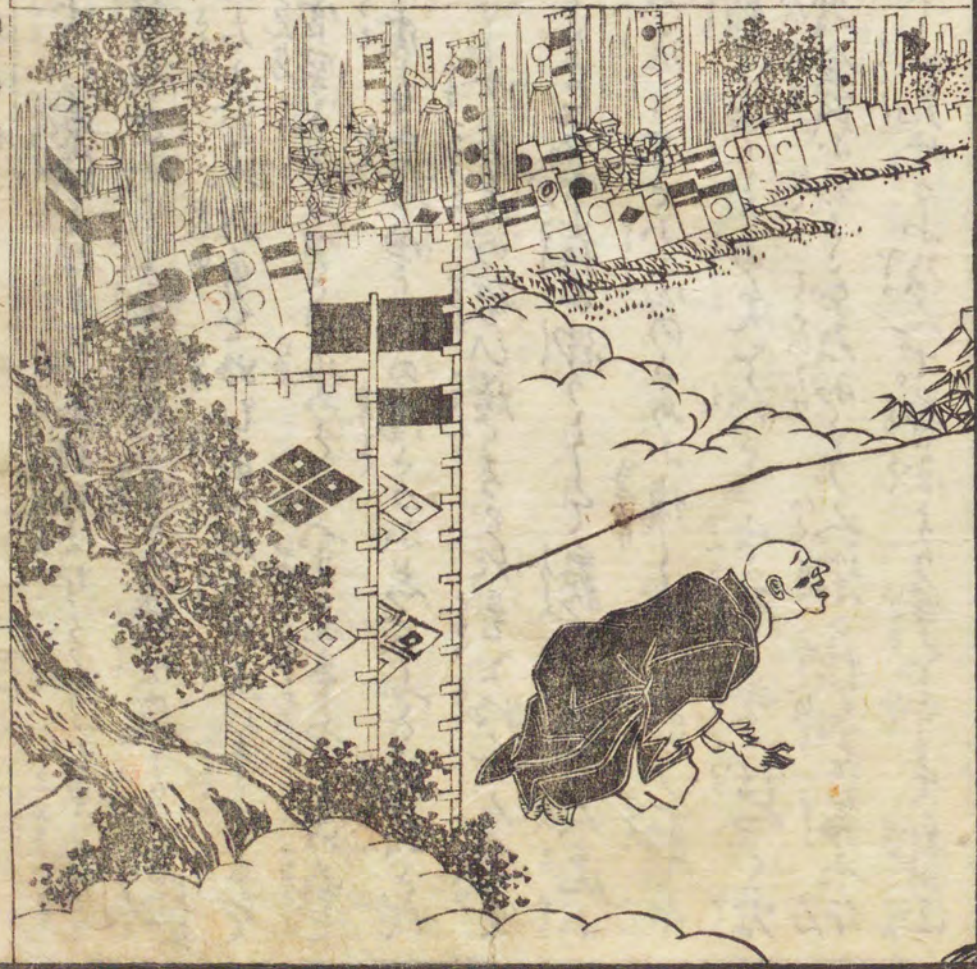
維新の志士記巻中

[illegible]

多し無慮の茶乃中村
 が為帽子を扇うを
 ふちう。中村もも
 せとお笑ひ士のけ
 てい法と付教をな
 もの好もこそはを
 ばれも又死人様
 為一大事わん
 御用ふまんと
 御多むるは極
 けをもん終て先す



やとひくぐ例の者
 中村が修和を
 ずふぬ封人米を
 倭い人様と皆
 が軍ねた
 貴小郎中修和
 中と修和

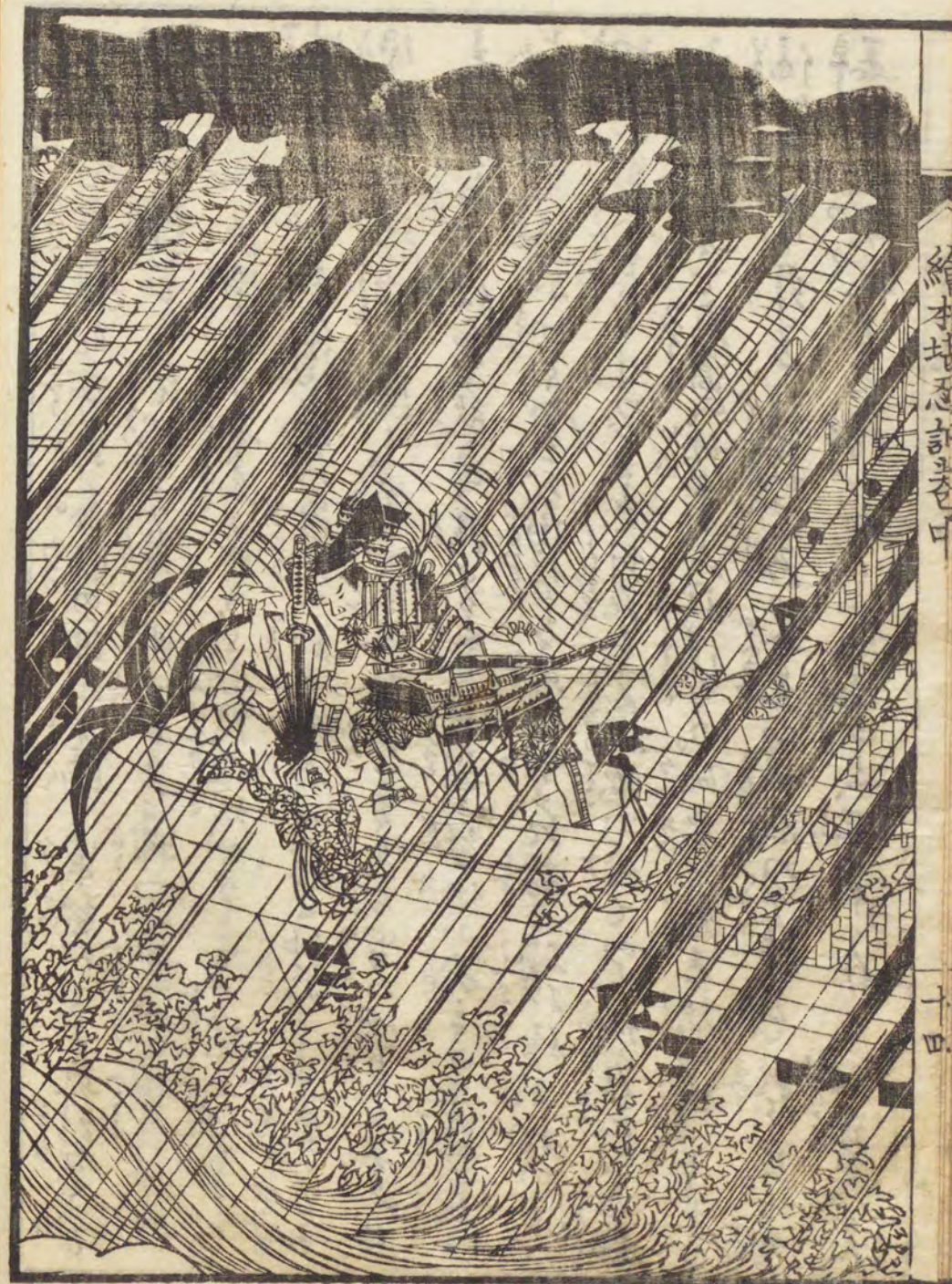
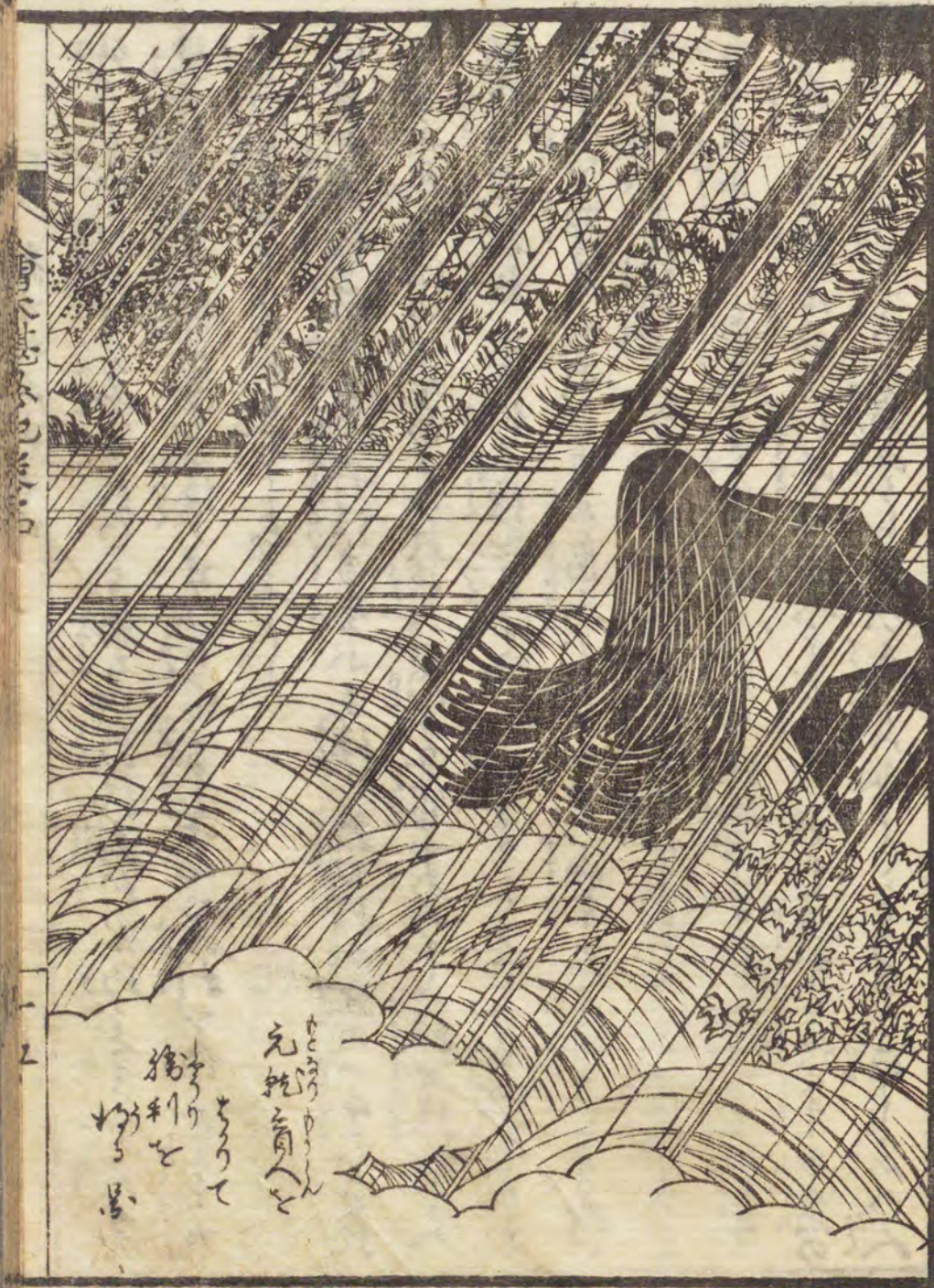


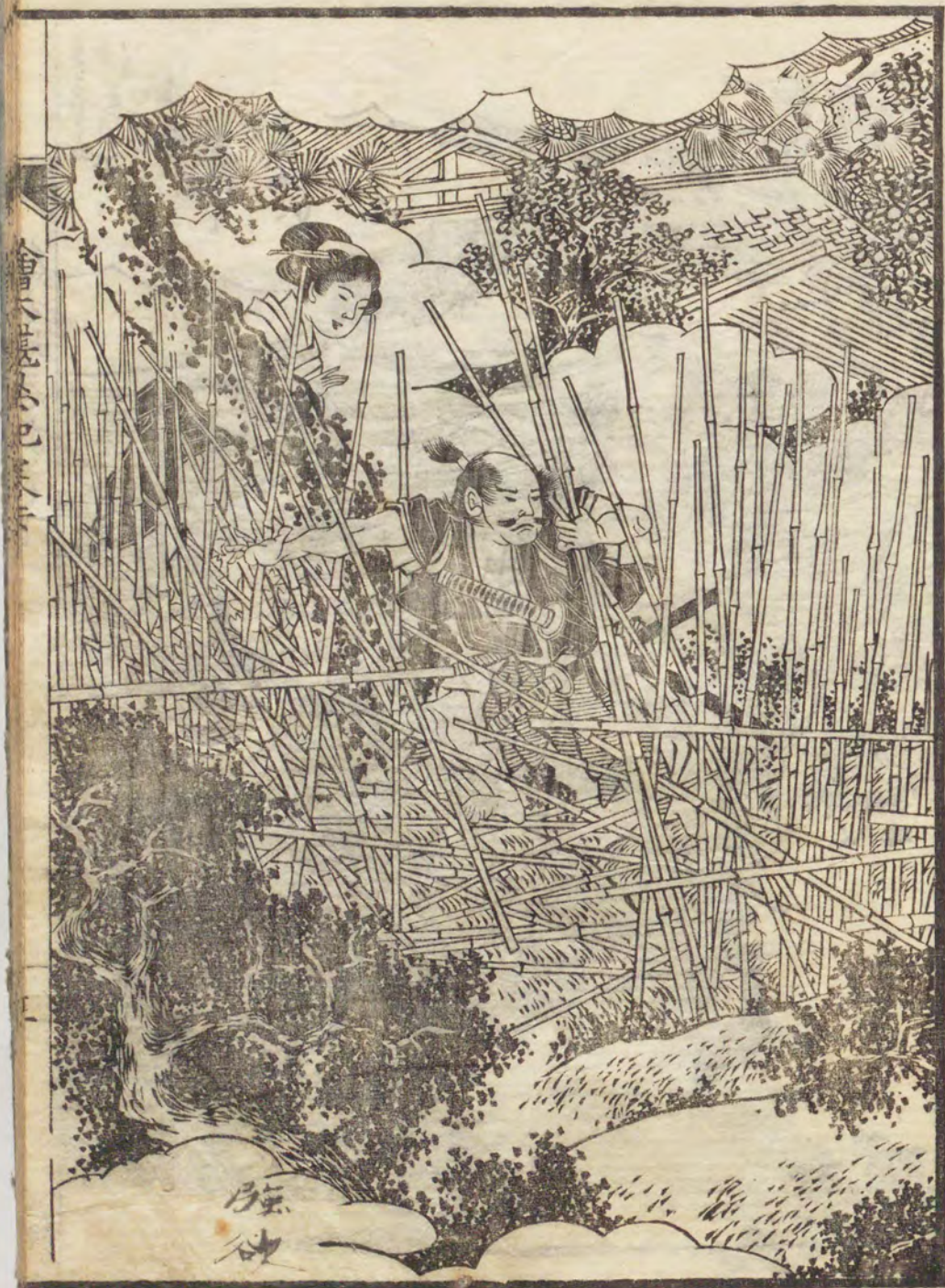


十
 子
 一
 虎
 子
 一
 虎
 子

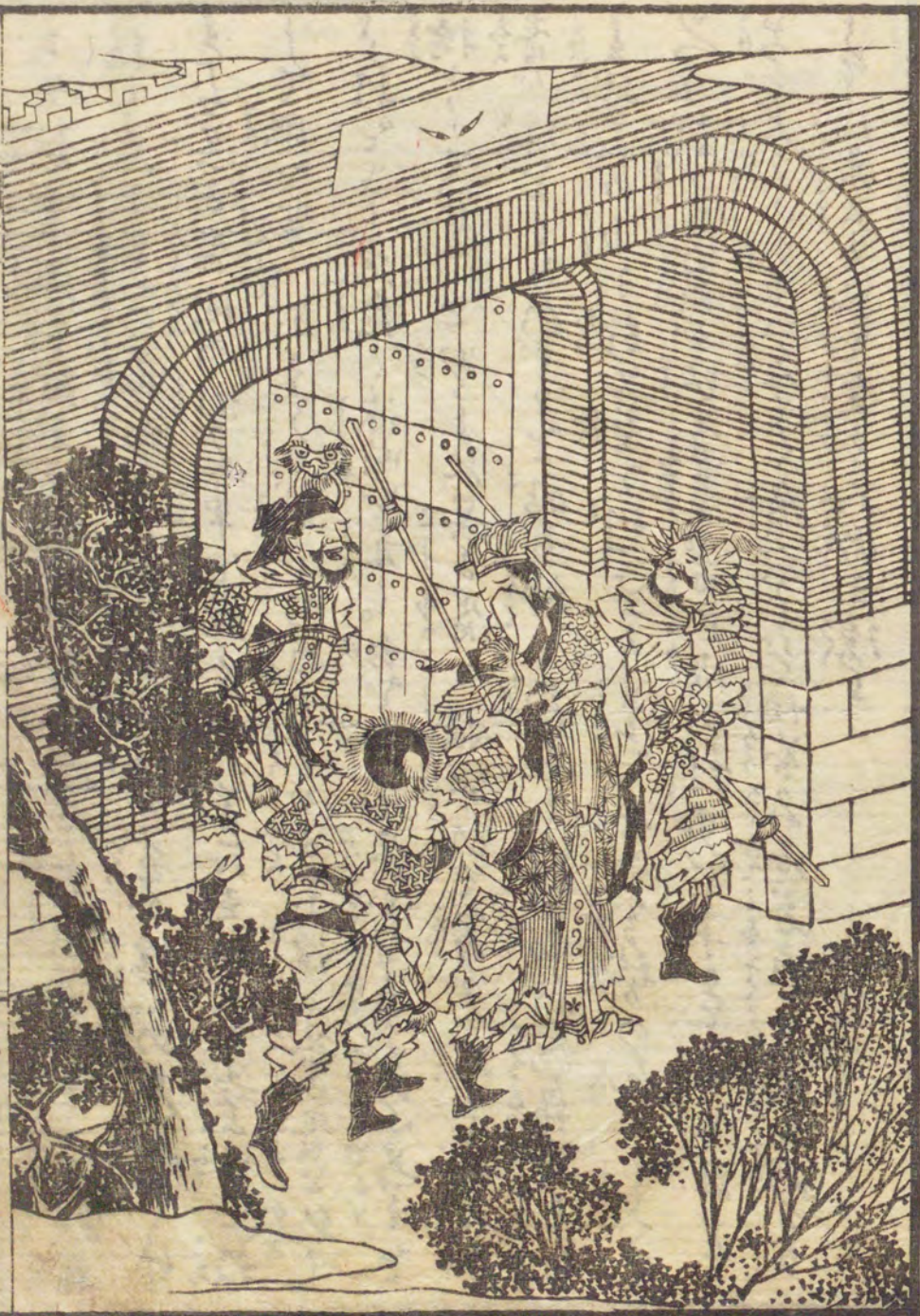
繪本堪忍記卷中

十二









越王 淋と常
の 勢
を 破る
必





河の
通る
道の
名

繪本堪忍記卷下

十